

年度	2025
授業コード	13603
授業科目	限局性学習症指導の理論と実践
英文科目名	Theory and Practice of Educational Instruction for Children with Specific Learning Disorder
講義副題	
開講責任部署	総合人間自然科学研究科（専門職学位課程） 教職実践高度化専攻 特別支援教育コース
講義区分	講義
単位数	2.0
時間割	2学期: 月曜日 3 時限
講義開講時期	2学期
履修開始年次	1
メディア授業科目	
区分1	平成30年度以降入学生
区分2	大学院科目
履修における注意点	
資格等	教免－幼稚園・小学校・専修、教免－中学校・高校（教職に関する科目）専修

## 担当教員

◎は代表教員です。

氏名	所属	E-mail
◎ 松本 秀彦	教職大学院	matsumoto-h@kochi-u.ac.jp

授業実施方法	対面のみ
--------	------

授業の目的 【COURSE AIMS】	限局性学習症の背景要因と指導方法の基礎知識を学び、限局性学習症のある児童生徒の指導に適用した実践について学ぶ。
関連科目名、関連科目コード番号 【COMPUTER LINK / RELATED COURSES】	「限局性学習症評価の基礎と実際」
授業の概要 【COURSE SUMMARY】	Specific Learning Disorder (SLD)（限局性学習症）は、「読字」、「書字」、「算数」の障害を主症状とする神経発達症であり、小学校・中学校・高等学校の通常の学級に在籍している者も多い。SLDの認知背景には、言語または非言語的情報処理過程の様々な障害が想定されていることから、適切な指導に当たっては、その前提としてそれら認知的背景を理解する必要がある。一方、幼稚園、小学校、中学校、高等学校など、その発達段階と教育環境に応じて求められる「読み・書き・計算」のスキルは異なり、またSLD児の学習のつまずきは多様である。したがって、SLDに対して適切な指導／支援を展開していくに当たっては、認知的背景理解とともに、発達段階や学習スキル、個人のつまずきなど種々の要因論することを通して実践的知識を習得する。

## 授業科目の到達目標【COURSE OBJECTIVES】

授業科目の到達目標	
1	①限局性学習症の認知特性を説明することができる。
2	②限局性学習症のアセスメントの結果を解釈することができる。
3	③アセスメントの解釈に基づいて効果的な指導法の具体例を説明することができる。

キーワード	限局性学習症、授業のユニバーサルデザイン、ICT、認知特性、読み書き計算スキル指導、RTI、MIM
-------	---

<b>【KEYWORD】</b>	
履修希望学生に求めるもの	学習障害のある児童生徒への指導の興味関心
<b>【PREREQUISITES / REQUIREMENTS】</b>	

## 授業計画【LESSON PLAN】

第1回	<p>授業概要</p> <p>ガイダンス/SLDに関する研究についての概観</p> <p>担当教員</p> <p>松本 秀彦</p>
第2回	<p>授業概要</p> <p>SLDの認知特性理解：読み障害1：読みの発達と音韻意識、代替的方法</p> <p>担当教員</p> <p>松本 秀彦</p>
第3回	<p>授業概要</p> <p>SLDの認知特性理解：読み障害2：MIMモデル、指導方法</p> <p>担当教員</p> <p>松本 秀彦</p>
第4回	<p>授業概要</p> <p>SLDの認知特性理解：読み書き：視覚的注意、視知覚、手先の不器用さ、代替的方法</p> <p>担当教員</p> <p>松本 秀彦</p>
第5回	<p>授業概要</p> <p>SLDの認知特性理解：算数・問題解決：数の概念の発達、算数障害の背景要因、指導法</p> <p>担当教員</p> <p>松本 秀彦</p>
第6回	<p>授業概要</p> <p>SLDのアセスメントの解釈と活用（WISC-IV、DN-CAS）</p> <p>担当教員</p> <p>松本 秀彦</p>
第7回	<p>授業概要</p> <p>SLDのアセスメントの解釈と活用（読み書き評価）</p> <p>担当教員</p> <p>松本 秀彦</p>
第8回	<p>授業概要</p> <p>SLDの認知特性に応じた指導：授業づくり、授業ユニバーサルデザイン</p> <p>担当教員</p> <p>松本 秀彦</p>
第9回	<p>授業概要</p> <p>SLDの認知特性と指導に関する研究事例検討(1)読み障害</p> <p>担当教員</p> <p>松本 秀彦</p>
第10回	<p>授業概要</p> <p>SLDの認知特性と指導に関する研究事例検討(2)書字障害</p> <p>担当教員</p> <p>松本 秀彦</p>

第11回	授業概要	SLDの認知特性と指導に関する研究事例検討(3)算数障害：計算
	担当教員	松本 秀彦
第12回	授業概要	SLDの認知特性と指導に関する研究事例検討(4)算数障害：文章題
	担当教員	松本 秀彦
第13回	授業概要	SLDの認知特性と指導に関する研究事例検討(5)ICT活用した指導：作文
	担当教員	松本 秀彦
第14回	授業概要	SLDの認知特性と指導に関する研究事例検討(6)ICT活用した指導：漢字
	担当教員	松本 秀彦
第15回	授業概要	SLDの認知特性と指導のまとめ
	担当教員	松本 秀彦

<b>授業時間外の学習</b>	授業に関する予習、発表準備のために週4時間学習する。
<b>【STUDENT PREPARATION &amp; REVIEW AT HOME】</b>	
<b>教科書・参考書【COURSE TEXTBOOK / REFERENCE BOOKS】</b>	<p>【必携】小貫悟・村山光子・小笠原哲史編著(2019)LDの「定義」を再考する、金子書房</p> <p>【参考書・参考資料等】</p> <p>文部科学省 幼稚園教育要領(2017)・小学校学習指導要領(2018)・中学校学習指導要領(2018)・高等学校学習指導要領(2019)</p> <p>上野一彦・松田修・小林玄・木下智子著(2015)日本版WISC-IVによる発達障害のアセスメント、日本文化科学社</p> <p>M.スノウリング著(加藤醇子・宇野彰監訳)(2008)ディスレクシア読み書きのLD親と専門家のためのガイド、東京書籍</p> <p>加藤醇子編著(2016)ディスレクシア入門「読み書きのLD」の子どもたちを支援する、日本評論社</p> <p>一般財団法人特別支援教育士資格認定協会編(2018)S.E.N.S養成セミナー特別支援教育の理論と実践 II指導、金剛出版</p>

## 成績評価の基準と方法【GRADING POLICIES/CRITERIA】

	比重・配分
学習意欲・授業参加度	100

<b>成績評価に関する補足</b>	授業内での発表、討議について評価する。
-------------------	---------------------

## オフィスアワー

氏名	曜日	時間	場所
松本秀彦	月	12~13	研究室

<b>オフィスアワーに関する補足</b>	その他の時間にも対応可能です。メールでご相談ください。
----------------------	-----------------------------

<b>授業形態</b>	口頭での質疑やディスカッションを含む
-------------	--------------------

<b>使用するLMS</b>	Microsoft Teams
----------------	-----------------

記入者名・記入日時等

松本秀彦 2/19 18:00

教員の実務経験の有無

無